



11項目のマテリアリティ(重要課題)を特定

日油グループは、NOF VISION 2030のありたい姿を実現するため、それぞれの課題でKPIとその目標を設定しています。目標数値と実績とのギャップを評価し、翌年以降の目標を再設定して達成を目指します。

マテリアリティ特定プロセス



従来のプロセスで検討したテーマに、新たな社会課題・注目度の高い課題を加え、候補テーマをリストアップします。各種ガイドラインを参考に、マテリアリティ要素として分類・集約します。

参考資料

- ISO26000
- GRIスタンダード
- SASB CHEMICALS
- SDGs
- 同業他社のマテリアリティ
- 社内ワークショップ

マテリアリティ要素について、「社会への影響度」と「自社への影響度」の2軸で、取り組むべき優先度を評価します。これには以下の項目を考慮します。

- ① ESG評価機関による日油の評価結果
- ② 直近1年間に株主さまからいただいたESGに関するご意見
- ③ 日油グループが過去に推進してきた課題の視点

CSR活動の推進を担う各部門の意見を取りまとめた上で、役員執行役員で構成する政策会議、ならびに社長を委員長とするCSR委員会における協議を経て、重要課題を選定します。また、重要課題の主管部門・担当部門は、KPI・目標値を立案します。

重要課題を取締役会で承認します。また、各項目のKPI・目標値は、取締役会の意見を踏まえて適宜修正します。これに基づき、各部門はそれぞれの活動を実行します。

重要課題は、定期的にレビューを行います。重要課題の各項目は、社内外のステークホルダーの意見を取り入れ、STEP1~3を経て毎年見直しています。



3つのカテゴリーと主な取り組み内容

マテリアリティ・マトリックスに配置した11項目の重要課題は、大きく3つの活動カテゴリーに分類しました。

豊かで持続可能な社会実現 のための新たな価値の提供

目指す3分野に向けて、多岐にわたる事業展開の中で培ったコア技術の組み合わせにより、新しい価値の提供を目指します。



▶ 日油のクリーンテック P.021-029

▶ 統合報告書 ▶ P.044-047

事業基盤の強化

価値観の多様性を受け入れる企業風土を築き上げるとともに、環境の変化、技術の進歩を適切にとらえ、レジリエンスを高めていきます。



▶ 人的資本への対応 P.127-135

レスポンシブル・ケア活動の推進

製品の開発、製造から廃棄まですべての過程において、「環境・安全・健康」を確保することで、社会全体から信頼される企業グループを目指します。



▶ 気候変動への対応 (TCFD) P.088-099
▶ ケミカルセーフティ P.105-106
▶ 生物多様性の保全 P.110-115



豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

マテリアリティ	2022年度					2023年度			
	目標(KPI)	目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標(KPI)	目標値	目標年	主な取り組みの内容
事業を通じたイノベーション	研究開発投資額 <small>日油グループ</small>	216億円 (3年間累計)	2022年	66億円 (累計185億円)	<ul style="list-style-type: none"> 産学委託研究公募 共同研究の推進 研究開発力の強化 	研究開発投資額 <small>日油グループ</small>	256億円 (3年間累計)	2025年	研究開発力の強化 <ul style="list-style-type: none"> 産学委託研究公募 共同研究の推進 知財戦略策定と戦略出願
	特許出願件数 <small>日油</small>	450件 (3年間累計)	2022年	175件 (累計494件)		特許出願件数 <small>日油</small>	500件 (3年間累計)	2025年	
ライフ・ヘルスケア分野への貢献 <small>日油グループ</small>	ライフ・ヘルスケア分野への高機能・高付加価値製品の売上高	5%UP (対前年)	毎年	116.6 ※前年度を100とする	<ul style="list-style-type: none"> 高機能・高付加価値製品のライフ・ヘルスケア分野への供給 	ライフ・ヘルスケア分野への戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度実績)	2025年	<ul style="list-style-type: none"> 戦略製品のライフ・ヘルスケア分野への供給
環境・エネルギー分野への貢献 <small>日油グループ</small>	環境・エネルギー分野への高機能・高付加価値製品の売上高	5%UP (対前年)	毎年	117.2 ※前年度を100とする	<ul style="list-style-type: none"> 高機能・高付加価値製品の環境・エネルギー分野への供給 	環境・エネルギー分野への戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度実績)	2025年	<ul style="list-style-type: none"> 戦略製品の環境・エネルギー分野への供給
電子・情報分野への貢献 (スマート社会) <small>日油グループ</small>	電子・情報分野への高機能・高付加価値製品の売上高	5%UP (対前年)	毎年	120.5 ※前年度を100とする	<ul style="list-style-type: none"> 高機能・高付加価値製品の電子・情報分野への供給 	電子・情報分野への戦略製品の売上高	15%UP (対2022年度実績)	2025年	<ul style="list-style-type: none"> 戦略製品の電子・情報分野への供給



事業基盤の強化

マテリアリティ	2022年度					2023年度			
	目標 (KPI)	目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標 (KPI)	目標値	目標年	主な取り組みの内容
働きやすい職場づくり ・エンゲージメント <small>日油</small>	年次有給休暇取得率	70%以上	2022年	73.4%	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの推進 健康経営の推進 育児・介護支援 	年次有給休暇取得率	75%以上	2025年	● 年次有給休暇取得の促進
		—	—	—		—	総合エンゲージメントスコア	50以上	2025年
人材の活躍 ・人材育成 ・ダイバーシティ <small>日油</small>		—	—	—	—	研修費用	2.5倍以上 (2022年度比)	2025年	● 人材育成支援体制の強化
	総合職採用の女性比率	30%以上	毎年	36.1% (2023年4月末入社)	● 女性活躍推進	総合職採用の女性比率	30%以上	毎年	● 総合職女性の採用拡大
		—	—	—	—	女性管理職比率	3倍以上 (2021年度比)	2030年	● 女性管理職比率の拡大
	障がい者雇用率	2.30%以上	2023年3月まで	2.46% (2023年3月末時点)	● 障がい者雇用の推進	障がい者雇用率	3.0%以上	2030年	● 障がい者雇用の推進
		—	—	—	—	正社員男女賃金差異比率	75%以上	2030年	● 男女賃金差異の縮小
		—	—	—	—	男性育児休業取得率	100%	2030年	● 男性育児休業取得率の拡大
		—	—	—	—	経験者採用比率	25%以上	毎年	● 経験人材の採用
CSR調達の推進 <small>日油</small>	CSRアンケート調査のカバー率(購入金額ベース)	70%以上	2022年	84% (2022中計期間の累計)	● 取引先へのCSRアンケート調査実施	CSRアンケート調査のカバー率(購入金額ベース)	85%以上	2025年	● サプライヤーへのCSRアンケート調査実施
		—	—	—	—	CSR調達の定着化に向けた対象サプライヤーへの面談による改善依頼(会社数ベース)	85%以上	2025年	● 対象とするサプライヤーの検討と面談内容のブラッシュアップ
レジリエンスの向上 <small>日油グループ</small>	BCP教育訓練時間	のべ 3,000時間以上	毎年	のべ 5,200時間	<ul style="list-style-type: none"> BCPマニュアルの改訂と周知 BCP訓練の実施 BCP監査による箇所活動の確認 	BCP教育訓練時間	のべ 4,000時間以上	毎年	<ul style="list-style-type: none"> 各種BCPマニュアルの充実化 訓練シナリオ拡充による対応力向上 監査による箇所活動の点検・確認



レスポンシブル・ケア活動の推進

マテリアリティ	2022年度					2023年度			
	目標 (KPI)	目標値	目標年	実績	主な取り組みの内容	目標 (KPI)	目標値	目標年	主な取り組みの内容
気候変動への対応	CO2排出量 <small>国内グループ</small>	40%削減 (2013年度比)	2030年	144千トン/年 20.0%減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガス削減施策立案と実施 ● エネルギー管理状況の把握 ● カーボンニュートラル方針の周知 ● 非化石証書付電力の購入 	CO2排出量 <small>国内グループ</small>	40%削減 (2013年度比)	2030年	<ul style="list-style-type: none"> ● 低環境負荷エネルギー源への転換推進 ● 省エネ設備の導入推進 ● エネルギー効率的利用と見える化の推進
	カーボンニュートラル <small>日油グループ</small>	達成を目指す	2050年			カーボンニュートラル <small>日油グループ</small>	達成を目指す	2050年	
化学物質の管理	2021年度改正PRTR対象物質排出量 <small>国内グループ</small>	170トン/年以下	毎年	148トン/年	<ul style="list-style-type: none"> ● PRTR法改正への対応および削減施策立案と実施 ● 改正後の排出量予測実施 ● 他社、日油状況調査 	2021年度改正PRTR対象物質排出量 <small>国内グループ</small>	170トン/年以下	毎年	<ul style="list-style-type: none"> ● 排出量削減施策の創出と実行 ● 製造プロセスの再評価
労働安全衛生の推進	休業災害発生件数 <small>国内グループ</small>	ゼロ	毎年	1件	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険に対する感性の向上と安全行動の徹底 ● 労働安全教育・訓練の実施 ● 危険予知能力の強化 ● 災害リスクの低減 ● 不安全行動、不安全状態の摘出と対策の強化 	休業災害発生件数 <small>国内グループ</small>	ゼロ	毎年	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険に対する感性の向上と基本的安全行動の徹底 ● 災害リスクの低減 ● 三現主義に基づく対策の強化